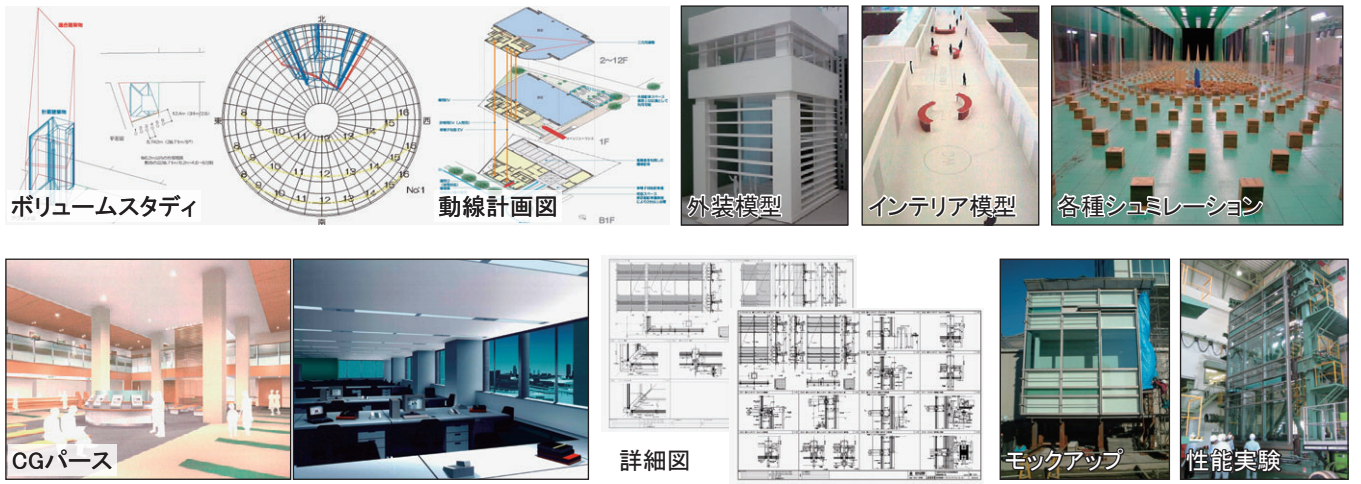
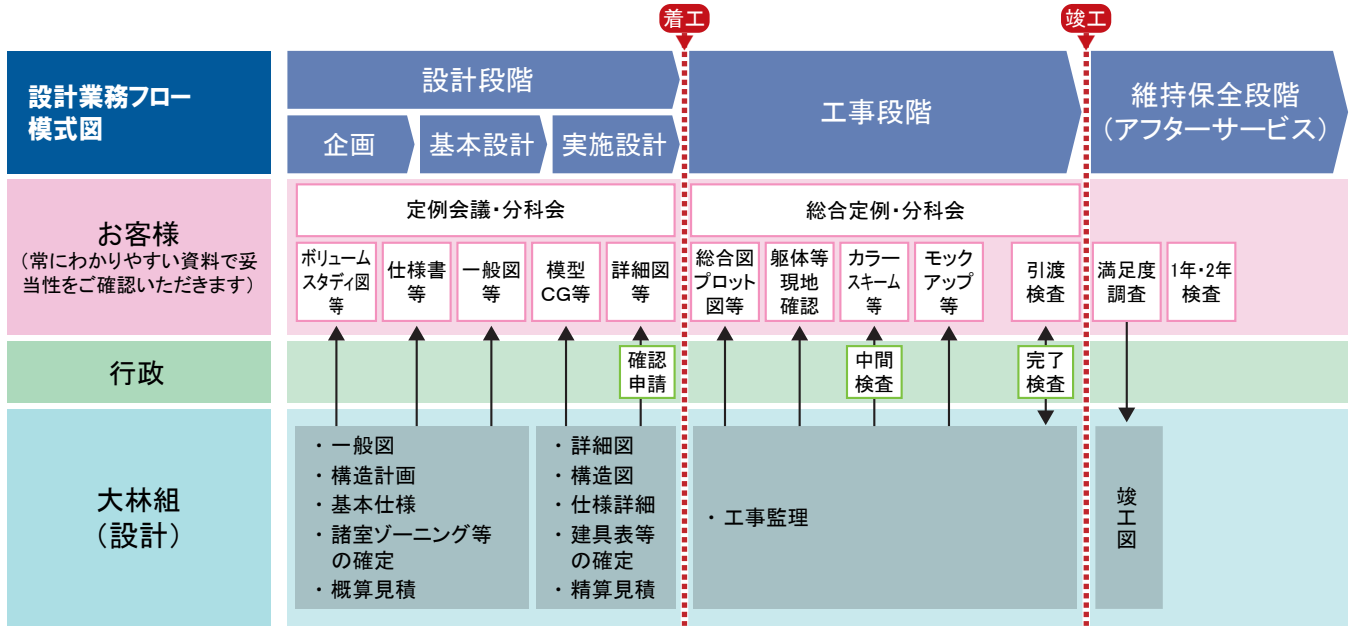


設計品質・施工品質 よいものを適正価格で速くつくりたい

『良く』 高付加価値で確かな品質を確保

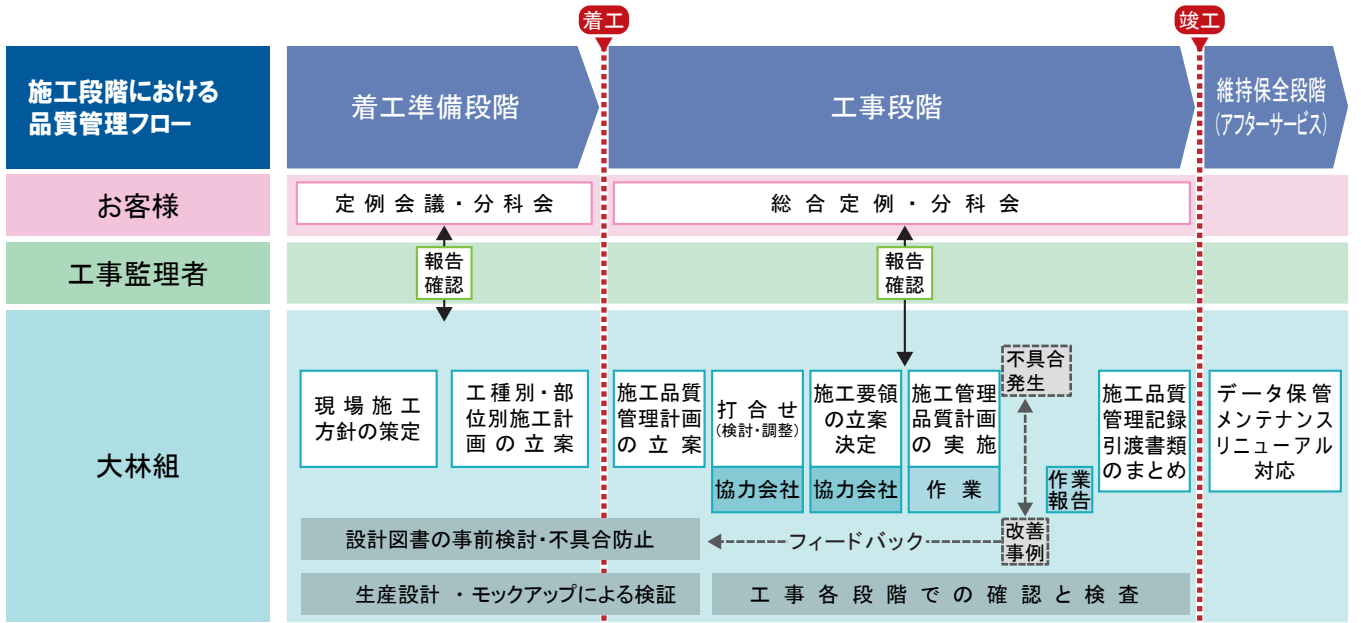
設計品質管理:常にわかりやすい資料でご確認いただけます

常にわかりやすい資料を用いてプロセスの進捗状況を説明し、お客様に納得いただいたうえでスケジュールやコストをマネジメントします。



施工品質管理:品質確保の具体的方策を確実に実行

ISO9001に基づく施工品質管理に加えて、工事の各フェーズで品質確保の具体的方策を立案し、確実に実行します。常にわかりやすい資料を用いてプロセスの進捗状況を説明し、お客様に納得いただいたうえでスケジュールやコストをマネジメントします。



品質確保の具体的方策

設計図書の事前検討・不具合防止

着工前の初期総合打合せ会や、着工後の事前図面検討会を開催し、関連するフィードバックシートや品質チェックシート等による事前検討を行い、不具合防止に努めます。

事前図面検討会

工種別施工計画の作成

主要な工種について、施工計画書を作成し施工に臨みます。施工計画書の中に「施工品質管理表」を盛り込んで、管理項目、管理値、管理担当者、管理記録を明確にして、自主管理を徹底します。

施工品質管理表

情報の共有化

会議体の設置とオンラインコミュニケーションツールによる情報共有を推進し、工事関係者全員が共通の認識をもって工事を進めます。

オンラインツール「OC-COMET」

生産設計による施工図および建築設備総合図の作成

工事事務所の生産設計担当者を中心に、品質の確保・向上を図る体制を構築します。蓄積したノウハウを活かし、建築と設備の整合性を図り、使いやすく不具合のない建物を実現します。

標準ディテールシートの例

モックアップによる検証

施工図の作成にあたって、モックアップによる実物大検証を行い、品質を確認します。施設関係者による使い勝手やデザインの確認を行うことにより、仕様決定や合意形成を円滑に行う事ができます。

照明・空調設備
使い勝手の確認

工事各段階での確認と検査

工程内で定められた各種検査に加え、各種検討会や、工事各段階ごとに実施する品質パトロールなどにより、品質管理を行います。

中間検査
竣工検査